

# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.286

2020.03/28 (土曜) 16:00 発表

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

### No.1778 続報 04月18日±に前兆変動終息が観測された場合は05月28日±の可能性有

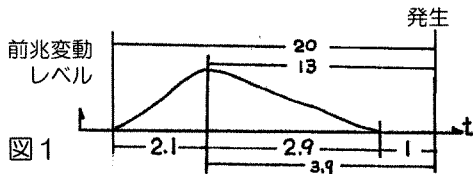


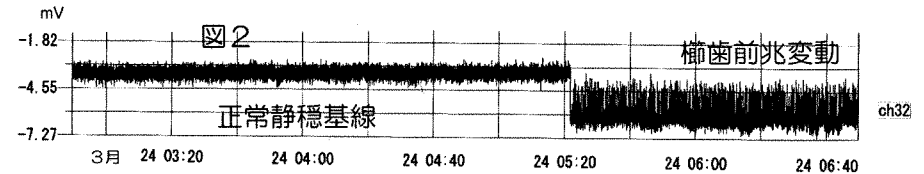
図1 No.1778長期継続前兆変動の続報です。

前続報では早い場合の発生推定時期として、04月以降の可能性を報告致しました。

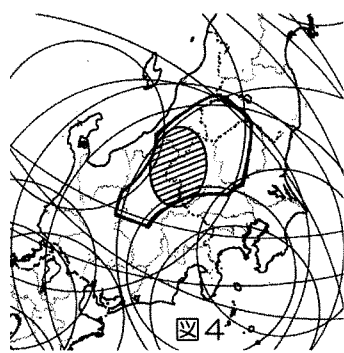
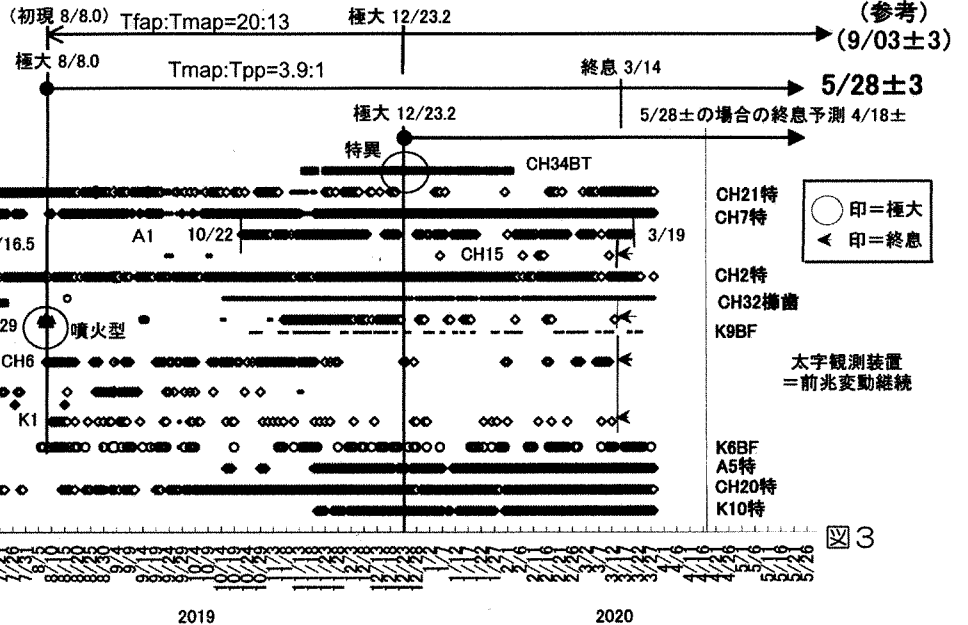
本日までの前兆変動出現状況は右図3のとおりです。

03月14日に複数観測装置の前兆変動が終息し、本日までに再出現は認められません。これらの前兆変動は、2019年08月08日の極大から継続出現しておりましたため、極大～発生=Tmap 終息～発生=Tpp としたとき、Tmap:Tpp= 3.9:1 経験則から、05月28日±3 発生の可能性が計算

できます。図3の上部に記したとおり、最長では09月03日±の可能性も若干考えられますが、図2のch32櫛歯変動も正常基線を記録する時間も増えており、ch02特異変動も正常基線を記録するなど、前兆変動は減衰傾向です。図1は前兆変動の時間的変動値変化の経験則比率ですが、極大付近を中心にやや長期に渡って出現した前兆変動でも極大前と後の継続比率が2.1:2.9となっている過去例が多く認められます。図3のA1前兆変動の出現状況も前述比率から計算される最終出現日03月17日に対し、実際は19日で2日の誤差です。ch34BTのような極大時期のみの出現とは異なり、ある程度長い出現ですので、先の前兆変動減衰傾向も合わせ09月まで継続する可能性は少々考えにくいとは思いますが、仮に05月28日±発生の場合には2019年12月23日極大に対する前兆変動終息時期が04月18日±と計算できますので、これを確認することが重要です。04月18日±に前兆変動終息がない場合は09月の可能性となる。続報します。 C) Copyright 2020 YSBO ハヶ岳南麓天文台



### No.1778 Stage-25 後半 2019年5月末～2020年3月



- ◆推定領域：図4の太線領域内域  
斜線域＝蓼科山・浅間山または草津白根山近傍領域。  
可能性が考えやすい推定領域。  
根拠：前兆変動出現放送局位置から経験則ドーナツ円を描き重複領域を求めた。また火山近傍前兆変動参考。
- ◆推定規模：M7.8±0.5  
根拠：8回のPBF.振動型BF極大の出現継続時間計より、経験則  $\text{Log PBF}(h)=0.5M-1.8$  式を使用して推定。
- ◆推定時期：前兆終息後計算予定  
最も早い場合の可能性 05月28日±3 否定困難  
今後の観測で修正の可能性有  
根拠：前兆変動出現状況より、時間変化経験則を使用。
- ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震 火山近傍  
根拠：長期前兆変動出現＝プレート境界型は過去例無し。  
多数観測装置前兆変動出現＝陸域地震を示す。  
火山近傍地殻地震特有前兆変動複数回観測。
- ◇推定発生時刻：午前09時30分 ±1 時間30分  
または午後05時 ±3 時間  
根拠：基線幅増大BTの変化時刻と実際発生時刻との相関  
経験則を使用。複数の共通BT変化時刻より推定。

続報します。 C) Copyright 2020 YSBO ハヶ岳南麓天文台